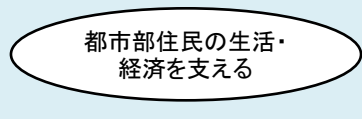
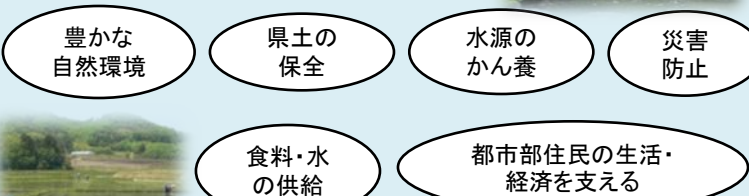


福島県過疎・中山間地域振興戦略『里・山 いきいき戦略』の改定概要 (H25.3改定)

県土の8割を占める過疎・中山間地域



多面的機能(里山の恵み・豊かさ)



未曾有の災害

東日本大震災 原子力災害

(避難指示が出された12市町村は過疎・中山間地域(南相馬市小高区中心部除く))

県産品への風評 観光・交流の減少 (県全域)

新潟・福島豪雨災害 (奥会津)

- 復興までには長期間を要する
- その間、自然減少や県外への流出により本県の人口減少が続くことが予想

○人口減少・高齢化が震災前から課題であった過疎・中山間地域において

- ・担い手の流出による過疎化の加速
- ・地域活力の低下
- ・住民の基本的な生活や集落機能の低下・喪失

このような状況が生じることが懸念

このため

○これまで講じてきた過疎・中山間地域振興の取組に、東日本大震災、原子力災害、新潟・福島豪雨災害に対応した施策を加えつつ、継続した過疎・中山間地域振興対策を講じるため、過疎・中山間地域振興戦略(H22.3策定)を見直し改定を行う。

見直しのポイント

○一連の災害からの一刻も早い復旧・復興に取り組むとともに、人口減少・高齢化を中心とした過疎・中山間地域が従来から抱えている課題に取り組むための施策の方向性について記載。

○現戦略の骨格である3本柱「地域力の育成」、「働く場と収入の確保」、「生活基盤づくり」を維持しつつ、3本柱の中から特に、震災・原子力災害などからの復興・再生に関する施策をまとめ、もうひとつの柱として新たに追加。

- ・総合計画の内容反映
- ・復興計画の復興施策を盛り込む
- ・復興・再生に向けた施策のための指標を追加
- ・取組内容の時点修正

復興・再生に向けた施策を新たに追加

「地域力の育成」に関連した復興・再生施策

【課題】

- ・避難生活による地域コミュニティの崩壊・喪失、伝統文化の継承危機
- ・教育旅行、グリーンツーリズム等都市部との交流の減少
- ・放射性物質の拡散



【取組】

- ・地域コミュニティの維持・再生と復興を担う人材の確保・育成
- ・高齢者を支え、子育てを支援する地域づくり
- ・交流の再生と新しい絆の活用
- ・豊かな自然環境の回復・継承
- ・文化財・伝統文化の保存・継承
- ・広域連携による防災力の向上



「働く場と収入の確保」に関連した復興・再生施策

【課題】

- ・農地、森林、漁場の放射性物質汚染
- ・県産品に対する風評
- ・観光客の減少
- ・雇用の場の減少・喪失



【取組】

- ・農林水産業の再生(農林地の除染等)
- ・産業の再生と原子力に依存しない新たな地域産業の創出(再生可能エネルギー導入)
- ・観光関連産業の再生
- ・雇用の場の確保と人材育成
- ・県産農林水産物の消費拡大



「生活基盤づくり」に関連した復興・再生施策

【課題】

- ・医療従事者不足
- ・子育てに対する不安の高まり
- ・災害に強い道路網の構築
- ・放射性物質からの安全確保



【取組】

- ・地域医療提供体制の再構築(人材確保等)
- ・高齢者福祉の確保
- ・安心して子どもを産み育てることのできる環境整備
- ・生活交通の復旧と確保(JR常磐線)
- ・地域の安全・安心を支える道路の復旧と機能強化
- ・県土の復旧・保全による安全な暮らしの確保(モニタリング・除染・廃棄物処理等)

「新潟・福島豪雨災害」からの復興・再生施策

【課題】

- ・河川、道路、鉄道、農地、林地などへの甚大な被害
- ・人口減少・高齢化が進んでいた奥会津地域がさらに厳しい状況に置かれることが懸念

【取組】

- ・迅速な災害復旧
- ・JR只見線の早期全線復旧
- ・只見川流域豪雨災害復興基金による復興事業・生活再建支援

